

小樽南ロータリークラブ会報

よいことの
ために
手を取りあおう



2025-2026 年度 R I 第 2510 地区目標

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 会員増強 | 5. 女性会員増強 |
| 2. クラブ活性化 | 6. 会員研修充実 |
| 3. 奉仕活動推進 | 7. 紛争予防と平和推進 |
| 4. 若い世代とのつながり強化 | 8. ロータリー財団活動強化 |

My Rotary
2510地区ホームページ
ICT委員会Facebook
各委員会へのメール



2025-2026年度 地区活動方針
Revival (リバイバル)
～原点に立ち返り、未来への繁栄へ～

- 例会場：オーセントホテル小樽 ● 例会日：毎週金曜日 12 時 30 分
- 事務局：〒047-0032 小樽市稲穂 2-15-1 (オーセントホテル内) TEL.0134-27-8123 FAX.0134-26-6935
- Club Homepage : URL <https://rid2510.org/otarusouth/>

1960年創立
昭和35年2月5日

33

2026年6月5日発行
通巻第3130号

今週
来週
再来週

6月5日
●(医) 越前谷脳神経クリニック
越前谷将紀様 卓話
6月12日
●休会

6月19日
●クラブフォーラム

■ 中小企業同友会小樽しりべし支部事務局長 土田あゆむ様 卓話

■ ロータリーソング【我らの生業】

■ 会長挨拶【佐藤友美会長】



雨が降ったり止んだりと不安定な天候が続いておりますが、本日土田さんの弾けるような笑顔にお会いし雨雲も吹き飛ばすような明るい気持ちになりました。この後の卓話を楽しみにしております。

先日、病院のスタッフと食事に行った際、最後に出てきたデザートがまだ少し凍った状態で提供されました。一人のスタッフは「硬い」「食べにくそう」と反応しましたが、一番若い女性スタッフは「シャリシャリ感が際立っていて、おいしいですね」と前向きに受け止めていました。同じものを食べても、受け止め方によって感じ方は大きく変わるものだ改めて感じました。そのスタッフに、普段から前向きに考えるよう心がけているのか尋ねると、「いろいろなことを明るく受け止めた方が楽しいじゃないですか」と答えてくれました。その言葉を聞き、このようなスタッフが当院に来てくれて本当に良かったと思いました。

よく、コップに半分水が入っている時に、「半分しかない」と考えるか、「半分もある」と考えるかという話があります。同じ状況でも、捉え方一つで見え方は変わります。

我がクラブにも、会計面や社会情勢など、さまざまな課題があります。しかし、まずは私たちがここに集い、親睦を楽しめること、平和に食事を共にできることに感謝したいと思います。そして、この大切な場をどのように守っていくかを、皆で考えていくことが重要です。

クラブにある価値あるもの、大切なものを守りながら、これからもこのクラブを支えていきたいと改めて感じました。会員の皆様におかれましても、今後ともどうぞよろしくをお願いいたします。

会員の皆様におかれましても、今後ともどうぞよろしくをお願いいたします。

■ 幹事報告

①今後の例会予定は以下の通りです。

6月5日：通常例会 越前谷様による卓話

6月12日：休会

6月19日：クラブアッセンブリー

6月26日：期末懇親会

②6月13日に余市ロータリークラブ65周年記念式典が開催されます。現在、当クラブからは9名の登録をいただいております。

③今年度の期末懇親会につきまして会場はオーセントホテルではなく、クラッセホテルとなっております。詳細につきましては改めてご案内いたします。

■ 出席報告

2026年5月29日

総会員数51名 欠席者数19名

石川、伊早坂、石上、桂、工藤、斎藤（英）、佐藤（公）、佐藤（勉）、田中（彰）、田中（沙）、拝田、馬場、吹田、堀内、松尾、松浦、宮川、水谷、山田

例会プログラム

■ 中小企業同友会小樽しりべし支部事務局長 土田あゆむ様 卓話



ただいまご紹介いただきました、この4月より北海道中小企業家同友会しりべし小樽支部の事務局長に着任いたしました土田あゆむと申します。本日は、歴史あるロータリークラブの貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございます。自己紹介を兼ねて、これまでの活動と、着任後に考えていることについてお話しさせていただきます。

私は札幌市で生まれましたが父の仕事の関係で、千葉県船橋市、東京都中野区、岡山県岡山市、石川県金沢市など、全国各地を転々として育ちました。人見知りな性格ではありますが、幼い頃から環境が変わる経験を重ねたことで、自然とコミュニケーション力が身についたように思います。大学は藤女子大学文学部を卒業いたしました。趣味は国内旅行、クラシック音楽鑑賞、野球観戦で、北海道日本ハムファイターズのファンでもあります。

大学卒業後、ご縁があり北海道中小企業家同友会に入局し、初任地は十勝支部でした。十勝支部は帯広市に事

務所を置き19市町村を管轄する活気ある支部で、当時は約800名の会員が所属していました。農業を中心とした第一次産業の会員が多く、十勝ブランドを発信する活動や販路開拓、収穫感謝祭など、地域と結びついた事業に携わりました。また、十勝地サイダー研究会の立ち上げにも関わり在任中に本別黒豆サイダー、更別すももサイダー、新得ウメサイダー、清水アスparaサイダー、広尾しおサイダーの商品開発にも携わりました。

その後、函館支部へ異動し渡島・檜山管内18市町を担当しました。函館支部では青年部の全道大会を担当し、記念講演会、分科会、懇親会を企画・運営しました。全道の会員の皆様と一つのことをやり遂げ、仲間として喜び合えたことは事務局として大きな喜びでした。また、児童福祉施設や養護施設へのチャリティ活動、北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録を後押しする紙芝居制作・寄贈など、地域に根ざした活動にも関わりました。

次に着任した札幌支部では、札幌市および近郊9市町村を管轄し、中央区の一部、東区、障害者雇用関係、農業関係の組織を担当しました。札幌市の委託事業として継続されている「障害者雇用を通して企業づくりを考えるフォーラム」では、全国の実践事例を学ぶ機会をつくり、会員企業だけでなく一般市民や障害当事者の方にも参加いただきました。また、視察例会やチーム運営、部下の育成にも携わり、組織運営の経験を積みました。

そしてこの4月、しりべし小樽支部に、私にとって初めての事務局長として着任いたしました。しりべし小樽支部は20市町村を管轄し、1973年に設立された函館支部に次ぐ全道で2番目に歴史のある支部です。同友会は「よい会社をつくろう」「よい経営者になろう」「よい経営環境をつくろう」という三つの目的と「自主・民主・連帯」の精神、地域と共に歩む理念を大切に活動しています。現在、全道には10支部8拠点があり約5,420社の会員企業が所属しています。しりべし小樽支部には現在326社の会員がいます。

同友会の特徴的な活動の一つに共同求人活動があります。現在は合同企業説明会、求人誌発行、教職員との懇談会、内定者フォローなどを行っており、しりべし小樽支部でも学校と企業の就職情報懇談会を開催しています。また、支部例会、経営指針成文化活動、委員会、部会、ミニ勉強会などを通じて会員同士が経営課題を学び合う場をつくっています。

今後の目標として会員のいない真狩村、黒松内町、島牧村の空白地域をなくすこと、全会員訪問を進めること、地域とのつながりをさらに深めること、頼りにされる事務局を目指すこと、そして働きやすい職場環境をつくることに取り組んでまいります。

同友会では、本音で語り合い、共に学び合う仲間を募集しております。ぜひ皆様と一緒に、この地域をさらに盛り上げていければと思っております。今後とも当会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

第10回理事会

【審議事項】

1) 式典参加登録料のクラブ負担について **承認**
今後、式典参加者の登録料等についてクラブで一部負担できないか幹事および会計で協議。合計17名に対し、1人あたり1万円、総額17万円をクラブで負担する案が示された。

2) 今後の例会プログラムについて **承認**
次回は越前谷様による卓話、それ以降はクラブアッセンブリー、期末例会が予定されている。

銭函ロータリークラブは解散が近づいておりクラブ内で今後について考えるきっかけをつくるため、小樽南ロータリークラブから中山幹事が対応する。

3) 銭函ロータリークラブからの入会手続きについて **承認**
銭函ロータリークラブは6月末をもって自動的に解散・退会扱いとなるため、事前の移籍手続きは行わず、7月以降に小樽南ロータリークラブへ新規入会として手続きを行うこととなる。

【報告事項】

1) 会員の退会・休会について
田中彰一会員より正式に退会の申し出があったため受理した。山田会員については継続の予定であることが確認された。工藤会員については、今後の対応については本人および会社側の意向を確認しながら進めることとなった。

2) インターアクトクラブおよび双葉高校との連携について
今年度はインターアクトクラブ設立に向けた土台づくりを進めてきたが正式な設立には費用面などの課題もあるため現在、地区等へ確認を行っている。

一方で、双葉高校側は海外研修などよりも地域でのボランティア活動をロータリークラブと一緒にすることを希望している。

また、インターアクトクラブでなくても地区大会へのオブザーバー参加は可能であり、参加費や交通費として年間2～3万円程度で対応できる見込みである。過去に参加した生徒からも好評であったため、次年度以降も双葉高校との関係を継続していきたいとの意向が示された。

3) 次年度の財政健全化について
次年度に向けて財政健全化委員会の設置を検討。現在のクラブ財政は、年間会費から固定費を差し引くと実質的な活動費が限られており会員数が40名程度の場合でも十分な活動費を確保することが難しい状況である。

これまでは地区大会の登録料の補填など行ってきた会場費を含めたクラブ運営全体の見直しが必要である。真心箱についても引き続き協力をお願いしていく必要がある。

まごころ箱・・・いつも有難うございます！

佐藤(友) 会員…土田様本日は卓話ありがとうございました。
湊 会員…本日は同友会しりべし小樽支部の事務局長に卓話を
させていただきましてありがとうございました！
井手 会員…還暦まであと一年になってしまいました。

井手 会員…次期が近付いてきたのに来週含め休んでしまいました。
広瀬 会員…まごころ箱協力金
盛 会員…夫人誕生祝

入金集計額 令和7.7.1～令和8.5.29 (25,000円)

合計 652,700円